

■ 2次元図面から3次元図面の作成方法や、その活用方法等を学びました。



「施工の省力化や簡易化、安全性向上を実現するために役立つICT技術活用ノウハウ」として、2次元図面から3次元データ図面の作成方法や、その活用方法などを習得しました。また、現場で使用するタブレット端末の使用方法や、現場における構造物の位置出し作業を実践しました。

- 1 日時 令和元年5月29日（水）
- 2 場所 建設ICT人材育成センター
（大垣市今宿6-52-18 ワークショップ24 4階）
- 3 対象者 岐阜県内の土木・建設関連会社の社員（3次元データ作成初心者）
- 4 参加者 23社 37名
- 5 内容

時間	研修内容	講師
9:30～10:00	受付	
	「3次元設計研修 ～2Dから3Dへ～」	
10:00～11:00	3次元設計を取り巻く環境	株式会社 建設システム 講師 鈴木 淳氏 （他 アシスタント3名）
11:00～12:00	2次元設計から3次元設計の図面作成体験	
13:00～15:00	2次元設計から3次元設計の図面作成体験	
15:15～16:15	タブレット端末等に落とし込み、現場にて活用する実習	
16:00～17:00	ヒートマップ図による出来形管理の実習	
17:00	閉講(アンケート記入後)	

- 6 主催 建設ICT人材育成センター（(公財)岐阜県建設研究センター内）
- 7 CPDS 6ユニット（認定講習）

8 研修状況



講師
株式会社 建設システム 鈴木 淳氏



“3次元設計を取り巻く環境”を講義により知り、3次元設計を活用したICT施工の現状について把握しました。



講師アシスタント3名にも補助を頂きながら、2次元図面データ（平面図、縦断面図、横断面図、線形データ、座標データ）を使用し“3次元設計図面”の作成を行いました。



“2次元設計から3次元設計の図面作成体験”
実際の3次元データ作成ソフトを使用し、自身で3次元設計データを作成することができました。



タブレット端末を用いて構造物の位置出し、丁張、敷高の検測等を行う等、生産性向上のための測量機器の活用方法について動画で学びました。



ヒートマップ図により出来形を計測・評価し、面的に出来形管理を行う手法について学びました。

9 受講者の感想

- ・ 講習、話すテンポが良く聞きやすかった
- ・ 実際に操作しながらだと、わかりやすいので良いと思った
- ・ 点群データは修正可能か、外注になるかどうかを知りたかった
- ・ 土木工事ではなく、建築工事での3D CADの活用についての講習があれば参加したい
- ・ 分りやすい説明と詳しい情報ありがとうございました。自社で利用することは無いかも知れませんが機会があれば役立てたいと思います。ICT技術にはすごく興味があるので機会があれば技術研修等参加したいと思います
- ・ 1回では覚えられないので機会があれば再度受講してみたい
- ・ 建設ICTは必須になると思うため。再度講習を受けたい
- ・ 3Dについて、まだまだ理解しきれない所があるが、利便性が上がればと感じた
- ・ 操作を体験することで作成方法が理解しやすかった
- ・ 指導スタッフが多くいたので、そのつど個別に確認ができたので分りやすかった
- ・ 今後にかせる講習であったと思う

以上